

2022年度 事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

特定非営利活動法人
アフリカ児童教育基金の会ACEF

2021年7月、塩尻美智子夫人が新所長、佐藤洋司氏がジェネラルマネージャー(GM=統括部長)に就任し、新体制で手探りながらの活動2年目であった。事業運営をケニア人責任者が担い、日本人は統括業務と調整役を務めた。

新型コロナウイルス感染症の影響

初期のオリジナル株では新型コロナウイルスが直接的、間接的な要因となり多数が死亡したが、それ以降の変異株ではケニア人はある程度の耐性や免疫があるかのように重篤化しにくい傾向があったためか、また高額な治療費を払うことを厭い、病院に行かない者も出て病院での新型コロナウイルス患者数の報告はほぼないに等しい。

また2023年5月より、すべての入国者に対してのワクチン接種もしくはコロナ検査での陰性証明の提出が撤廃され、ケニア国内における新型コロナウイルスはほぼ収束したと言える。

定款1の医療援助事業

エンブ(タウン分院を含む)、エナ、マキマの3つの病院を運営。

迅速な対応や充実した機器が備わっていることから、近隣地域からも信頼がおける私立病院として知名度が高い。

エナ病院のエイズケアセンターでは、コロナ禍でさらに弱者となったエイズ患者への定期健診、処方のほか、患者のカウンセリング、栄養指導の他にエイズ予防啓蒙活動と、後出の患者宅の訪問ケアを実施。

マキマ分院は近隣に設備の揃った病院がないため、引き続き近隣住民への医療サービスの提供を継続。コロナ禍で一時中断していた2023年2月には3年ぶりのメディカルキャンプ(無償診療日)を実施。予想人数の300人をはるかに超える人数の患者が遠くからも集まり、地域住民への医療貢献を果たした。

定款2の医療講習会開催事業

エナ病院エイズケアセンターでは、2019年度より医療法人社団元志会の支援を得て、来院の必要があるのに、経済的または身体的に困難で診察に来れない患者宅への訪問ケア(診察、投薬、カウンセリング、栄養指導など)を月10回程度、コロナ対策をしながら実施。特にコロナ禍でさらに弱者となった患者のケアをしている。

またコロナ禍で望まぬ妊娠やそれによるHIV/AIDSに感染した若年女子に対するケア、妊娠中の母子感染を防ぐためのケアを目的とした母子健康セミナーを月1回程度実施。悩みをシェアしたり、特に若い母親のケアをしている。

定款3の職業技術訓練

主に経済的や諸事情により義務教育(6歳から13歳までの8年制)を修了出来なかった青年及び子女を対象に、8つのコース(自動車整備、板金塗装、金属加工、家具木工、洋裁服飾、美容、コンピューター技術、自動車免許取得)に分けて、将来の雇用を促進する教育事業として当会が運営。ケニア政府公認校に指定されて12年。エンブ郡から教員派遣などを受けて自立運営しているため、当会からの事業費の支出はなし。

毎年行っている他団体 NPO 法人が支援する事業とコラボし、学校の長期休暇を利用し、年3回、当職業訓練所で小学校教師や洋裁教師の再トレーニングプログラムを実施。教育の質の向上にも貢献した。

定款4の教育支援

小学校運営

コロナ禍により、2021年度は変則授業を余儀なくされ2022年3月末までずれ込んだが、授業週や休暇の短縮などで2022年度は年内に授業を消化でき、通常授業へと戻した。

ケニアの義務教育を行う小学校(7歳から14歳までの8年制)は、年末に行われる全国統一高校入学試験(日本のセンター試験のような試験で、この成績により高校が振り分けられる)では、コロナ禍の不十分な勉強の時間にも関わらず、今年もエンブ郡の450校中、男子最高得点取得者、女子最高得点取得者を輩出し、エンブ郡総合首位を11年連続で独占した。将来、ケニアを背負って立つ優秀な人材を育成している。生徒数 保育所を含め、総生徒数 約 650名

また、これまでの小学校8年制(義務教育)、高校4年制の区分であったが、中学校(Junior Secondary)を新設し、2023年1月より教育の新システム(CBC=小学校6年、中学3年、高校3年)が始まった。中学校ではこれまでの主教科メインの授業スタイルから、副教科へも重きを置くスタイルに替わったため、教室の他にも理科実験室なども増築。またこれまでカリキュラムがあっても実施されていなかった体育や家庭科などの授業にも力を入れるようになった。小学校は自立採算できているため、中学建築費などもそこから捻出し、当会からの事業費の支出はなし。

エイズ孤児院 ジャンプ&スマイルセンター運営

「エイズ感染孤児」を対象にした、子供たちの生活向上と教育支援事業を実施するための ACEF ジャンプ&スマイルセンター(以下 J&P)の運営も継続。近隣の2つの小学校に分かれて通学。

また小学校を卒業し、高校、職業訓練校へ進学した者も出ている。高校生は J&P から通学している者、高校の寮に入っている者、保護者宅から通学している者など様々。

エナ・エイズケアセンターと連携して健康管理を行い、子供たちに教育の場を提供し、せっかく生まれた人生の生きる道を探り、絵画や音楽、ダンス、スポーツなど適性を生かした道とともに支援している。

また、設立から10年が経過し、子供たちは成長し、J&Pを卒業していく者も出来たため、次世代の入居者のリクルートも、エンブ郡の子供担当官と進めている。大規模な選考会を行うのではなく、卒業した子供の数だけ新規入居者を選び、補充していく形を取っている。

また、エイズ孤児施設の経済的自立のため、有機農法による農園を整備し、家畜の世話をし、自給自足の生活を目指している。クラウドファンディングにより、ダチョウ園を含むジョイアsparkを建設した。詳細は後述する。

定款5の有機薬剤及び有機肥料の製造と普及の推進

農業立国を目指すケニア国家の国策を支援するため、従来から有毒で高価な化学肥料や、化学農薬に依存してきた農業栽培方式から、安全で安価な有機微生物を活用した「有機肥料及び農作物の病害虫を抑制」ための、自然再生型の農業栽培の転換を目的として、貧しい農民への「有機肥料の知識と技術」の教育を継続。

有機肥料を製造、販売、普及啓発する EM ケニアという別会社に普及活動を委譲したため事業費の支出はなし。

定款6 環境保全に係る事業

環境保全活動

ACEF の関連施設のスタッフなどが参加し、また環境保全に興味があり意欲のある学生グループなどにも呼びかけ、毎年 5 月に実施しているクリーンナップデイは、今年度コロナ禍のため中止。

公共イベントなどで散らかるゴミを拾いながら、環境保全について話す機会を得て、少しずつ近隣住民にも認知されてきているので、来年度以降は再開できることを望む。

ゴミの分別回収では、生ゴミとプラスチックやカン・ビンなどの分別作業をするためのステーションを設置している地域環境団体 Utamaduni をサポート。ロバ車で回収したゴミをステーションで分別する作業を地域の若年層の雇用支援として実施。分別したプラスチック、カン・ビンは業者に引き取ってもらった収益は、Utamaduni の就労支援や技術向上のための運営資金とする。

同時に、コロナ禍で屋内外販売イベントが激減してしまったが、職業訓練校洋裁コース卒業生が、日本国内向けのアフリカ布バックの普及もサポート。デザイン、縫製のアドバイス、販路調査、出店先営業、委託販売、購入者からのフィードバックなどをまとめて次の作品に活かせるようにサポートした。Utamaduni のサポートのため、事業費支出はなし。

複合施設 ジョイアスパーク建設

アフリカと言え、市井の人は野生動物を見る機会は極めて少ない(場所によって国立公園や保護区と隣接している場所ではゾウやシマウマは日常茶飯事で見ることにはできる)。小学校などの校外学習や修学旅行で保護区へ行ってはじめて野生動物を見たという子どもも多い。

そこで、2020 年のクラウドファンディングで呼びかけ、ダチョウ園を建設。収益が得られればそれをエイズ孤児院の運営費に充てる計画であるが、それだけでは大きな集客は見込めないため、校外学習だけでなく家族連れをターゲットとして、遊戯施設(遊具、アスレチック、ジップライン、迷路、マウンテンバイクコースなど)と、様々な鳥類、カメ、ワニなども併せて飼育し、ふれあい動物園兼環境学習ができる複合施設ジョイアスパークを設立。

その他、ケニアも少しずつ中流層が増えてきて、余暇に家族で出かけることも増えてきているほか、会社の福利厚生、結婚式場としての利用されることも視野に入れている。2022 年 4 月 23 日オープン。全国版の新聞の地方欄でパークを取り上げた記事が掲載された。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支出額
定款① 医療援助活動	病院は自立運営しているため、 事業費支出はなし。	年中無休 24時間対応	・エンブ郡内	0円
定款② 医療講習会開催事業	エイズ患者宅への訪問ケア 母子健康セミナー	毎月10回程度	・エンブ郡近郊	920,931円
定款③ 各種の職業訓練学校の 運営事業	政府認定校になったことにより、 事業費支出なし			0円
定款④ 教育支援事業	エイズで親を亡くした子ども達を 預かる ACEF ジャンプ&スマイル センター(孤児院)の運営	年間を通して	エンブ郡マキマ 村	5,617,469円
	野生動物とふれあい、環境問 題を学習する施設ジョイアスパ ーク建設、運営			5,297,062円
定款⑤ 有機薬剤及び有機肥 料の普及啓発事業	EM ケニアが有機肥料の製造、 販売、普及啓発活動を担って いるため、事業費支出はなし。			0円
定款⑥ 環境保全に係る事業	Utamaduni によるゴミ回収事業 職業訓練校卒業生によるグッズ 作成、販売のサポート			0円
業 実 施 経 費 合 計				11,835,462円

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支出額
定款① 有機薬剤及び有機肥 料の販売事業	この事業は実施しておりませ ん。			0千円